

# 萩ジオパーク

## 推進協議会だより

vol.101

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年7月31日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 📠 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject



## 夏休みだ！ 萩ジオパーク 行こう！

いよいよ夏休みが始まりました。

この数年、コロナ禍で思うように

活動できない期間を過ごしてきましたが、

今年は存分に楽しんでいただける体験満載です！

すでに始まっているプログラムの様子をご紹介します。

8月も開催予定ですので、ご参加お待ちしております！

### 菊ヶ浜トワイライト★ハイク



7/16の初回は、満員御礼！海水浴客が去った菊ヶ浜で、穴を掘ったり、生き物を探したり、寝そべて波の音に包まれたり…。最高のひとときを過ごしました。

大雨の度に川が運んできた砂でできた砂浜で、生き物たちは自分の居心地の良い場所を探して暮らしています。そんな営みを肌で感じていただけたと思います。

### 笠山噴火実験教室



笠山ってどうやってできる？萩の島々はなんで平ら？コーラが激しくふき出す実験と、ドロドロとよう岩が流れ出す実験で、火山の成り立ちを学びます。迫力満点の実験で、大歓声が上がっていました。

シマシマ地層  
ボトル＆  
化石レプリカ  
を作ろう



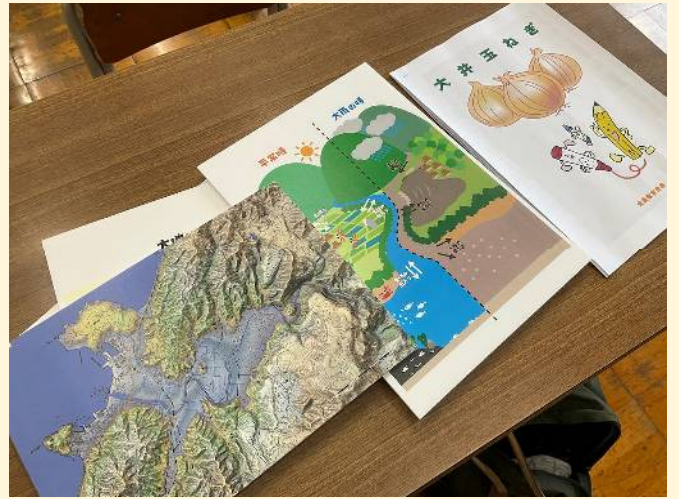
シマシマの地層はどうやってできる？地層ができる様子を何度でも再現できる「シマシマ地層ボトル」を作って持って帰ります。今年はさらに、須佐

ホルンフェルスで見られる二枚貝の化石から型を取った化石のレプリカをつくる新プログラムも登場！お気に入りの色の化石キーホルダーをつくって楽しんでもらいました。

## 大井小中学校 【7/5】

7月5日は白井専門員が大井小中学校におじゃましました。中学生たちが萩市大井の特産である「玉ねぎ」をいろいろな人たちに知ってもらうための活動をするので、話を聞かせてほしい、とのご依頼でした。

教室には生産者の方とJAの方もいらして、生徒たちがそれぞれ聞き取り調査をしていました。専門員には「大井の玉ねぎが育てられている土地はどんな特徴ですか？」という質問が投げかけられ、大井川という川が氾濫をくり返しながらか変化する土地で、田んぼと玉ねぎ畑を交互に行っている（二毛作）のが大井の特徴だという話をしました。今でも大雨の時にはすぐにあふれるような川ですが、そんな本来の土地の営みに合った人の営み、という視点が伝わったようでした。



## 厚保中学校 【7/7】

7月7日には、お隣の美祢市から厚保中学校の生徒さんたちが学習に来られ、城下町と笠山のプログラムを体験してもらいました。

美祢市といえば大雨で大きな被害がありましたが、厚保中学校の周辺でも家屋が浸水したそうです。萩城下町のプログラムは、毎年のように氾濫をくり返す阿武川と向き合い、様々な工夫で住み続けてきた江戸時代の人々の暮らしの姿勢に思いをはせる内容です。こういう時だからこそ、土地の営みと向き合って暮らすということを考えてもらう特別な機会になったのではないのでしょうか。

## 学校教育連絡会議 【7/6】

7月6日に萩ジオパーク推進協議会・学校教育連絡会議を開催しました。

萩市、阿武町、山口市阿東の各小中学校から1名ずつ先生にお越しいただき、情報共有や研修を行う場です。今回はビオトープや田植え学習でお世話になっている椿西小学校の石田校長先生に、その取り組み事例を紹介していただいたり、そこで紹介された授業内容を専門員が実演したり、という2時間でした。

学校の横のつながりが強まる場でもあり、先生同士の交流や経験の共有がされるとても充実した時間になりました。子どもたちの学びの機会が年々増え、質も上がっていくように、これからも頑張ります！



## 幹事会 【7/19】

7月19日、萩・明倫学舎本館展示映像室で、山口市、山口市阿東総合支所、阿武町の担当で幹事会を開催しました。今年度の事業や、今後の方向性、再認定で指摘された「阿武町や山口市阿東地域においての活動」、「拠点施設等の可視性向上」について意見交換を行いました。今後も定期的に意見交換の場をもち、活動を充実させてまいります。

## 地域連絡会議 【7/25】

7月25日、萩ジオパークビジターセンターとオンラインで、萩市の地域担当者と地域連絡会議を行いました。事務局より昨年度の主な事業の報告や、5周年記念イベントの一環として地域イベントに出展するなどの今年度事業計画の説明、ジオパーク活動補助金や永尾隆志萩ジオパーク基金の紹介を行いました。各地域からは、7月30日に開催される「龍が通った道まつり」をはじめとした活動状況の報告がありました。

参加募集！

### 第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東 参加者へ参加費や旅費を半額補助します!!

「第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東」の参加者に参加費や、公共交通機関による交通費を半額補助します。補助を希望される方は、必ず事前に事務局までご連絡をお願いします。

**補助：**大会参加費（5,000円）及び公共交通機関交通費1/2  
（宿泊費、自家用車、タクシー代等除く）

**条件：**萩ジオパークの一員として、分科会、ポスター発表に参加すること

**定員：**5名程度

**申込・問合せ：**萩ジオパーク推進協議会に電話もしくは、  
メールでお問合せください  
電話（0838-21-7765）  
E-mail（1480@city.hagi.lg.jp）

**大会詳細：**大会公式HPでご確認ください  
※大会への参加申込や交通手段の確保、  
宿泊予約等は参加者各自で行ってください



大会公式HP

締切迫る！

## 令和5年度 萩市ジオパーク活動補助金再募集

萩市は、地域の発展を目指しつつ、大地の遺産を守り、学び、生かすための主体的で特徴のあるジオパーク活動を行う市民活動団体、町内会や自治会などの地域住民組織に対し、萩市ジオパーク活動補助金（上限25万円）を交付します。補助対象期間は交付決定日から令和6年3月19日（火）までで、募集期間は **8月16日（水）** までとなっています。

多くの皆さんがジオパークを通じた様々な活動を展開されることを期待しています。補助対象事業や、補助対象経費など募集に関する詳しい情報や申請書類等のダウンロードは萩市公式ホームページへアクセスしてください。



ジオパーク推進課HP

# 萩ジオパーク認定5周年記念！ 萩ジオパークフェスティバル

萩ジオパークが2018年9月に日本ジオパークに認定されて5年が経つことを記念して、大地と人、人と人がつながるイベント「萩ジオパークフェスティバル」を開催します！

【日 時】2023年9月24日（日）10時～16時

【会 場】萩市民館（萩市江向495-4）



毎年開催している「萩ジオパークフェア」と同様に、ジオパーク活動と一緒にさせていただいている多くの方々もそうでない方々も、一堂に会するお祭りになりたいと思っています。

会場では、つくって、遊んで、食べて、様々な“体験”を通して「ジオパークの視点」を感じていただけるように考えています。老若男女、広く地域の皆さんに楽しんでいただける内容を盛りだくさんで企画中です。今回は内容の一部や出展予定団体をご紹介します。

## 【体験コーナー】

- ★大漁旗のはぎれでオリジナルコースターをつくろう！（協力：岩川旗店）
- ★各地の水でいれたお茶を飲みくらべ！「飲みくらべカフェ」（協力：Mine秋吉台ジオパーク）
- ★お米の産地に思いをはせて...「おふる米グランプリ」（協力：萩市食生活改善推進協議会）
- ★萩の郷土料理を味わおう！「萩ふるさとごはん」（協力：NPO萩元気食の会）

## 【その他体験ブース出展団体（50音順）】

一般社団法人あぶナビ／NPOあとう／笠山ジオの会／GI Paddlers／ささラブ応援隊ジオ部／すさPR COMPANY／竹あそびひこばえ／豊ヶ淵交流事業実行委員会／萩ジオツーリズム協会／萩ジオ友の会／無角和牛振興公社

自分も体験ブースを出展してみたい！という方も大歓迎です。お気軽にご連絡ください。  
みんなで5周年を盛大に楽しみましょう！

## 8月の予定

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会 8月26日（土）9:30～15:00 場所：中央公園 内容：現地探訪「田万川カルデラめぐりー滝や溪流で遊ぼうー」 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）